

平成 30 年度 7 月 SSH 活動記録

球陽 SSH サイエンス・スコープ 『沖縄の自然と生き物～へびの話～』（2018. 7. 6）

7月6日（金）にラボ室で吉岡由恵氏（公益財団法人 沖縄こどもの国）をお招きし、球陽 SSH サイエンス・スコープ『沖縄の自然と生き物～へびの話～』を開催しました。球陽 SSH サイエンス・スコープは、球陽中・高校生の皆さんに科学の面白さをもっと知ってもらうために企画しました。中学校・高校関係なく、理数科・国際英語科関係なく、みんなでサイエンスを楽しんでもらうために実施しました。

第1回は生物分野です。ラボ室に実際にコーンスネークというへびを持ってきて頂き、触ってみる機会もあり、大変盛り上がりました。講師の方に、沖縄のへびやへびの生態、へびの持つ毒についてなど、へびについて勉強することができ、生徒も最初から最後まで興味津々で参加していました。また、へびの抜け殻やへびの頭の骨を触ることもでき、充実した様子でした。この講座をきっかけに、もっと「へびについて知りたい！」「今度は違う生き物についても学びたい！」と、生物に関心をもった生徒もいました。



球陽 SSH×図書館企画展 サイエンス・ライブラリー （2018. 7. 3～31）

7月3日（火）より、球陽 SSH×図書館企画「サイエンス・ライブラリー」を本校の図書館で開催しました。主な内容は、「SSH 探究Ⅱの研修紹介」と「科学道100」です。科学ってすごい！と思わせてくれる研究や本を紹介します。掲示場には、透明標本の展示や植物を展示しました。また、SSH 探究Ⅲで3年生が研究し論文にまとめた論文集も展示しました。SSH 探究Ⅱでは、それぞれがテーマをもって研究活動を行っていて、各科目の研究テーマを一つずつ写真と生徒の感想をのせてポスターで展示しました。



SSHサイエンスイングリッシュ・ラボ (2018.7.23)

7月23日(月)にラボ室で、Bojan Brink, Jennie Li, Alessandra Watson, Brett Shintaniによる、SSH Science English Labが開催されました。SSHサイエンスイングリッシュ・ラボは、科学実験の内容の説明、実験、発表までをすべて英語で行うという企画です。まず、生徒は2つのグループに分かれて実験を行いました。1つは「極低温世界を体感してみよう」、もう一つは「科学捜査で犯人を捜せ」です。

「極低温世界を体感してみよう」では、熱と温度の違いや熱運動についてを英語で学びました。その後、液体窒素を使った実験を行いました。生徒達は、 -196 度の液体窒素に見入っていました。最後は、液体窒素を溶けたアイスクリームの中に入れてかき混ぜ、キンキンに冷えたアイスクリームを楽しく頂きました。

「科学捜査で犯人を捜せ」では、ルミノール反応とニンヒドリン反応の実験を行いました。ルミノール反応で、液体が青白く光った瞬間を見たときは、生徒も興奮して思わず声のでるほどでした。「科学捜査で犯人を捜せ」では、指紋検出を行い犯人を当てるという課題があり、グループで一生懸命話し合いながら楽しく参加している様子が見れました。最後は、自分たちが行った実験をpower pointにまとめて、他の実験を行ったグループ同士で英語で実験内容を発表しあいました。今回のSSHサイエンスイングリッシュラボで、英語で説明をしたり聞いたりということに挑戦してみて、生徒達は英語をもっと勉強したいという意欲も湧いたようです。

